

安全データシート (SDS)

1 化学品及び会社情報

製品名	: フォームアップ 10L
会社名	: 共立製薬株式会社
住所	: 東京都千代田区九段南 1-6-5
担当部門	: 品質保証部
電話番号	: 03-3264-7196
E-mail	: hinshitsu@kyoritsuseiyaku.com
推奨用途及び使用上の制限	: 発泡消毒補助液

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体	: 区分に該当しない
自然発火性液体	: 区分に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分 2
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期（急性） : 区分 1
水生環境有害性 長期（慢性） : 区分 1
オゾン層への有害性 : 分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起 : 警告

危険有害性情報 : 強い眼刺激

呼吸器の障害のおそれ

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策 : 取り扱い後は手、前腕、及び顔をよく洗うこと。
必要な時以外は環境への放出を避けること。
保護眼鏡／保護面を着用すること

応急措置 : 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗浄する。
眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続け、眼の刺激が続く場合は、医療処置を受けること。
飲み込んだ場合 : 大量の水を飲ませ、速やかに医師の手当てを受ける。
漏出物を回収すること。

廃棄 : 内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。

3 組成及び成分情報

単一物質・混合物の区分 : 混合物

成分及び含有量

化学名又は一般名	CAS 番号	化審法	濃度
N、N-ジメチルドデシルアミンオキシド	1643-20-5	(2)-195	14%
水等	—	—	残

4 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
必要に応じて医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用
していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続け、
目の刺激が続く場合は、医療処置を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 気分の悪いときは医師に連絡すること。

5 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末、泡、二酸化炭素、霧状水
- 使ってはならない消火剤 : 棒状水
- 火災時特有の危険有害性 : 有害ガスが発生する恐れがある。
- 特有の消火方法 : 火災の風上に立つこと。
安全に対処できるならば着火源を除去すること。
周辺火災の場合は容器を安全な場所に移す。移動が
不可能な場合は、容器を散水冷却する
- 消火を行うの者の保護 : 手袋、保護眼鏡、防火服、防災服、耐火服等、適切な
保護具を着用する。

6 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急措置 : 付近の着火源となるものは、速やかに取り除く。
漏出エリアを換気する。
皮膚、眼との接触を避ける。
適切な保護具を着用して作業する。
必要な場合以外および保護具を着用していない人の
立ち入りを防止する。
- 環境に対する注意事項 : 環境中（水域、土壌）への放出を避けること。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 不活性な物質（例：乾燥砂、土）に吸収させて、廃棄
用容器に回収する。吸収材の中で拡散した液体を吸収
する。
大量の場合、先ず土砂等でその流出を止めてから回
収する。

少量の場合は土砂、ウエス等で吸着させ取り除いた後、密閉できる空容器に回収する。

残留物は地方自治体の指示に従い、適切に廃棄する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 静電気を帯電する恐れがあるため、静電気除去の対策（接地等）を行なうこと。

静電服、静電靴等を着用するなどして、人体帯電を防止すること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。

安全取扱い注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。

皮膚、眼との接触を避ける。

個人用保護具（メガネ、手袋、マスク等）を着用する。

小児の手の届かないところに保管すること。

食品等の容器に小分けして使用又は保管しないこと。

衛生対策 : 取扱い中は飲食、喫煙をしてはならない。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

保管条件 : 直射日光を避け、換気の良い涼しい場所で保管すること。

8 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 局所排気装置を使用し、作業所の十分な換気を確保する。

取扱い場所の近くに、眼の洗浄および身体洗浄のための設備を設置し、設備の位置を明瞭に表示すること。

保護具

呼吸の保護具 : 状況に応じ有機ガス用防毒マスク、送気マスク等。

手の保護具 : 有機溶剤不浸透型保護手袋（静電気対策品が望ましい。）

眼、顔面の保護具 : 保護眼鏡、ゴーグル、防災面

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

9 物理的及び科学的性質

物理状態 : 液体

色 : 無色～淡黄色

臭い : わずかに特異なにおい

pH : 情報なし

動粘性率	: 情報なし
溶解度	: 水と混和
密度	: 情報なし

1 0 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の取扱い条件下では安定。
反応性	: 通常 of 取扱い条件下では反応しない。
危険有害反応可能性	: 酸、酸化剤と反応して発熱する可能性がある。
避けるべき条件	: 過熱、裸火、スパーク、着火源
混触危険物質	: 酸、酸化剤
危険有害な分解生成物	: 情報なし

1 1 有害性情報

急性毒性	: データが不十分のため、分類できないとした。
皮膚腐食性／刺激性	: データが不十分のため、分類できないとした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 区分 2 の成分 10%以上含有のため、本製品も区分 2 とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作	: データが不十分のため、分類できないとした。
生殖細胞変異原性	: データが不十分のため、分類できないとした。
発がん性	: データが不十分のため、分類できないとした。
生殖毒性	: データが不十分のため、分類できないとした。
特定標的臓器毒性	: データが不十分のため、分類できないとした。
誤えん有害性	: データが不十分のため、分類できないとした。

1 2 環境情報影響

生態毒性	
水生環境有害性	: 区分 1 の成分 25%以上含有のため、本製品も区分 1 とした。
残留性・分解性	: 情報なし
生態蓄積性	: 情報なし
土壌中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 成分がモンリオール議定書の付属書に列記されていないため、分類できないとした。

1 3 廃棄上の注意

内容物／容器を国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

1.4 輸送上の注意

国際規制

国連番号	: 3082
品名	: 環境有害性物質（液体）
国連分類	: クラス 9 有害性物質
容器等級	: III

国内規則

陸上規制	: 消防法等に定められている運搬方法に従う。
航空規制	: IATA 危険物規則書に従う。
海上規制 :	: 危険物船舶運送及び貯蔵規則に従う。

1.5 適用法令

労働安全衛生法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法	: 1-224 N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド 含有率 14%、2023 年より管理番号 224
毒物および劇物取締法	: 非該当
消防法	: 非該当
危険物船舶運送及び貯蔵規則	: 環境有害物質（液体）
航空法	: 環境有害物質（液体）

1.6 その他の情報

参考サイト : 独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）

参考文献 : 1) JIS Z 7252 2019
2) 事業者向け GHS 分類ガイダンス
3) GHS 国連文書改訂第 8 版
4) 危険物輸送に関する勧告改訂 21 版
5) 自社データ

注意 : ここに記載された情報は、完全さ、正確さを保証するものではありません。
本品の適正な使用については、使用者の責任において行ってください。